



| | |
|-------------------------------------|--|
| ④ 科目名 | 管理会計論 |
| ④ 科目名(英訳) | Management Accounting |
| ④ 科目ナンバー | BS339C04 |
| ④ 詳細情報 | 授業外学修時間:週4時間 |
| ④ 担当者 (非)は非常勤講師 | 曾場 七恵 |
| ④ 単位数 | 2 |
| ④ 開講学年 | 2年 |
| ④ 開講セメスター | 春期毎週 |
| ④ 対象学科 選択・必修 | 必修: 選択:BS |
| ④ 他学科受講 | |
| ④ 履修順序・履修情報 | |
| ④ 担当者及び時間割 | 【春学期】 曾場 七恵:水5-6 |
| ④ カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー) | 工業簿記論、原価計算論を学んだ後に、その応用分野として位置づけられる科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①: <input checked="" type="radio"/> ②: <input type="radio"/> |
| ④ 身につく基礎力／身につく汎用力 | 調査・情報収集力 企画・計画力／専門的知識・技能 思考力 |

| | | |
|-----------------|--|---------------------------------------|
| ④ 授業の主旨 (概要) | この授業で登場する管理会計は、財務会計とは異なり、社長等の経営管理者の計画や管理に役立つ会計情報を提供するために発達した会計領域です。この授業では、財務会計と管理会計の違いを理解したうえで、管理会計の意義や概念、さまざまな技法について歴史から現在までの構造を理論的に学びます。 | |
| ④ 具体的 達成目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 日商簿記検定2級に出題される工業簿記の領域を、理論的に理解することができる 2. 財務会計と管理会計の違いと特性を理解することができる 3. 数ある原価計算の違いと特性を理解することができる 4. 会計情報を経営管理に役立てる方法を理解することができる | |
| | 1 | 【内容】 イントロダクション～管理会計とは～ |
| | 2 | 【授業外学習】 財務会計と管理会計の違いを説明できるよう理解を深める |
| | 3 | 【内容】 財務分析 |
| | 4 | 【授業外学習】 会社の問題点を洗い出すために利用される分析について理解する |
| | 5 | 【内容】 原価計算 |
| | 6 | 【授業外学習】 適正な製品原価を算定するための計算構造を理解する |
| | 7 | 【内容】 標準原価計算 |
| | 8 | 【授業外学習】 作業能率を向上するための計算構造を理解する |
| | 9 | 【内容】 CVP分析と直接原価計算 |
| | 10 | 【授業外学習】 利益計画を設定するための手法を理解する |
| | 11 | 【内容】 予算管理 |
| | 12 | 【授業外学習】 利益管理の方法を理解する |

| | | |
|----------|----|--|
| 授業計画 | 7 | 【内容】 業績管理 【授業外学習】 事業部の業績の評価方法を理解する |
| | 8 | 【内容】 業務的・意思決定のための会計 【授業外学習】 一部品種の生産中止などの会社経営における意思決定について考える |
| | 9 | 【内容】 戦略的・意思決定のための会計 【授業外学習】 設備投資などの企業経営における意思決定について考える |
| | 10 | 【内容】 管理会計における戦略の重視と新手法の展開 【授業外学習】 新しい管理会計の体系を理解する |
| | 11 | 【内容】 ABCとABM 【授業外学習】 正確な製品原価の算定や継続的な改善のために利用されるABCとABMの違いを理解する |
| | 12 | 【内容】 品質原価計算とライフサイクルコストイング 【授業外学習】 環境に適合した総合的な原価管理について理解する |
| | 13 | 【内容】 製品開発と原価企画 【授業外学習】 原価企画の特徴について理解する |
| | 14 | 【内容】 バランススコアカード 【授業外学習】 戰略の実現と多元的な業績評価のために用いられるバランススコアカードの活用方法を理解する |
| | 15 | 【内容】 まとめ 【授業外学習】 これまでに学習した内容を復習する |
| 授業方法 | | 1. テキストと資料をもとに解説 2. 授業テーマに関する小課題への取り組み ※各種課題のフィードバックは、授業時間内に行う |
| 成績評価方法 | | 1. リアクションペーパーの提出(20%) 2. 授業テーマに関する小課題の提出と正答率(30%) 3. 期末試験(50%) |
| 成績評価基準 | | 上述の目標の達成度と、成績評価項目の出来高を総合的に評価する |
| 教科書 | | |
| 参考文献 | | |
| 備考 | | |
| 関連ホームページ | | |
| メールアドレス | | 曾場 七恵 sys8889@fsc.chubu.ac.jp |
| オフィスアワー | | |